

全校朝会 講話(5.10)

皆さん、おはようございます。

先週、菅総理大臣が緊急事態宣言の延長を決めました。もともと今回の緊急事態宣言は、5月11日までだったのですが、それが5月31日までとなりました。不要不急の外出はやめましょうということです。小学生の皆さんにとっては、放課後は特別な用事がない限り、外に出るのはやめましょう、ということです。特に、友だちの家に行くのは控えましょう。

ここで、新型コロナの感染に関係するある実験がテレビで放映されました。その時の様子を見てもらいましょう。(NHK スペシャル 20200322 マイクロ飛沫を視聴する)

実験している男の人が、くしゃみをします。このくしゃみで飛ばされたつばから、感染してしまうといわれています。これは、目に見える直径1ミリの大きな飛沫。すぐに下に落ちてしまいます。特殊なカメラ見てみると、目に見えないとても小さな飛沫が下に落ちないで空中に残っているのがわかります。これをマイクロ飛沫といいます。

次に、マスクをしないで話をしているとどうなるのか、という実験です。大きな声で話をする、二人の間には目に見えないマイクロ飛沫が飛び続けている様子が分かります。

はっきりとはまだわかっていませんが、このマイクロ飛沫を吸い込んで感染が広がっているのではないかと、とも言われています。だから、マスクをすることが大切なんだと言われています。特にマスクを外さなければならぬ、給食の時間、マスクをとったまま話をしてしまうと、目に見えないマイクロ飛沫が飛んで行ってしまいます。新型コロナウイルスに感染している人の中には、まったく症状のない人がいます。症状のない人から飛ばされた新型コロナウイルスで感染してしまう、ということもあるのです。だから、マスクをつけて過ごしてください、マスクを外した時のおしゃべりは、しないで下さい、といっているのです。また、マスクをした状態でも大きな声で話をしてしまうと、マスクの隙間を通過して、飛沫が飛び散ってしまいますので、大きな声では話をしてはいけません。だから、授業中にお友達が発表するときには、発表する人の顔を見て黙ってしっかりと話を聞くことが大切なんです。自分ができることをしっかりとしながら、新型コロナと戦っていきましょう。

これで校長先生のお話を終わります。